

令和3年度 事業実績

社会福祉法人 豊岡市社会福祉協議会

目 次

1. 組織運営体制の強化 -----	3
2. 財政基盤・組織経営の強化 -----	4
3. 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実 -----	6
4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現 -----	23
5. 様々な地域課題に対応する人材育成と確保 -----	27
6. 社協活動の見える化・透明性の確保 -----	29
7. 法人運営 -----	31

【豊岡市社会福祉協議会 基本理念】

「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」

【豊岡市社会福祉協議会 使命】

1. 多様なネットワークの構築と、住民主体の地域福祉を推進する。
2. 住民がその人らしい豊かな在宅生活を送るための支援を行う。
3. 確固たる組織経営を構築する。

はじめに

新型コロナウイルス感染症の影響から、地域行事やいきいきサロン等の中止による住民同士の交流機会の減少、ボランティア活動の減少による地域のつながり・支え合いの低下が懸念される状況が続いています。また、コロナ禍による社会的孤立や生活困窮から地域生活課題が複雑化・多様化しています。

豊岡市社会福祉協議会（以下「豊岡市社協」という。）は、生きづらさを抱える方を含め、様々な住民の地域生活を支え、また、その人らしく役割、生きがいを持って暮らし続けられる地域づくりに、地域住民、社会福祉法人、企業、市等と連携・協働して地域共生社会の実現に向けて取り組みました。

豊岡市と豊岡市社協は、共同で次期『豊岡市地域福祉計画』の策定を行い、市、市社協、住民・関係機関等がめざすべき地域像や方向性を共有し、それぞれの役割のもと、連携・協働し地域福祉を着実に推進していくこととしています。基本目標は、これまでの計画を継承して「住民の主体的な地域づくり」と「総合的・包括的な相談支援体制づくり」としました。

高齢者、障害者の移動・交通の課題は、当事者の意見に基づいて住民主体の外出課題の解決の仕組みづくりをめざし、地域住民の課題解決の取組みのサポート・バックアップ、住民主体の活動を支える社会資源の開発（企業・団体・行政等との連携）として取組みを進めました。

在宅生活を守りきる介護サービスの実施状況は、小規模多機能型居宅介護事業のぐるらんが開設から4年目で、施設紹介動画の発信等により登録者数が増加し、また介護に関する相談件数も増加しており、地域福祉生活支援拠点としての役割を果たしています。

介護人材の不足、競合他社の増加等による介護サービス事業所の厳しい経営状況を改善するため、介護職員初任者研修の開催により介護人材の確保・育成を図りました。

善意銀行の役割が住民により理解されるために、市内の福祉活動や善意銀行の使いみちを発信する情報サイトを企業・市民の参画により開設しました。普段の暮らしの中での困りごとや支え合いの活動の様子が若い世代にも共感を得られています。

災害時の連携・協力体制強化において、4月に豊岡青年会議所、豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部との協定締結、6月に豊岡ライオンズクラブ、出石ライオンズクラブ、豊岡亀城ライオンズクラブとの協定締結を行いました。協定締結を契機に、青年3団体と豊岡市、本会との災害ボランティアセンター合同訓練を実施し、災害ボランティアセンター運営のための連携・協力体制の土台づくりに取り組みました。

1. 組織運営体制の強化

豊岡市社協が地域福祉を推進する中核組織としての役割を果たせるよう、豊岡市地域福祉計画の2つの基本目標「住民の主体的な地域づくり」「総合的な相談・支援体制づくり」のもと、地域支援担当職員、相談支援担当職員、介護サービス事業所職員、事務職員、全ての職員が連携し、地域支援と個別支援を一体的に推進する組織運営体制の強化に取り組みました。

(1) 住民ニーズ、地域課題の解決に向けた組織内連携の強化

① 地域福祉推進のための組織内協議の場の強化・連携

地域支援担当職員、相談支援担当職員、介護サービス事業所職員、事務職員が連携し地域福祉を推進するため、旧市町圏域ごとに圏域ミーティング（組織内協議の場）を開催しました。各部署の事業活動の進捗状況や情報の共有、圏域内の社会資源の整理、事例検討等を通じて、地域支援と個別支援の一体的な推進に向けて取り組みました。

また、地域福祉計画の推進を図る圏域行動計画コアメンバー会議を旧市町圏域ごとに開催。各部署の取組みの成果と課題についての協議を通じて、圏域内の職員が連携し、地域福祉推進を図る体制づくりを行いました。

(2) 目標管理による確実な組織運営、事業計画・予算目標の実行

基盤強化計画に位置づけた取組を着実に実行していくために、課長補佐以上の管理職を対象とした目標管理制度に基づいて進捗管理に取り組みました。

課	項 目	進 捗 状 況
企画総務課	中長期経営計画の進捗管理	○地域福祉・生活支援拠点ぐるらんPR動画を作成、ホームページにアップ ○新100歳祝福事業 令和3年度実施をもって終了 ○社会福祉団体活動助成の対象要件、助成額の改正
	福祉ポータルサイトの運営	○「とよニコ」サイト開設、運用。市民ライター9名が参加
	働きやすい職場環境づくりの整備	○取り組みに工夫がみられ、順調に進んでいる部署の紹介 ○ノー残業デイの取組みが習慣化
地域福祉課	住民の主体的な地域づくりに向けた支援スキルの向上	○支援計画に基づく支援の方向性の協議、実践、振り返り協議を通じたコミュニティワーカーの育成
	総合相談支援体制の構築	○総合相談センターの機能強化を図るための支援機関一覧表、つなぎシート(相談連絡票)の作成、活用
	災害支援体制の構築	○青年3団体、ライオンズクラブとの災害協定締結 ○災害ボランティアセンター運営マニュアル改訂 ○災害ボランティアセンター合同研修会実施

在宅福祉課	介護保険事業の利用者の確保	○利用者数目標達成率	
		ケアプランセンター	92.5%
		ヘルパーステーション	94.4%
		デイサービスセンター	97.0%
		訪問入浴事業	115.0%
		小規模多機能型居宅介護事業	91.0%

2. 財政基盤・組織経営の強化

豊岡市社協が確固たる組織経営を構築し、住民のその人らしく豊かな在宅生活を守りきるためには、財政基盤の柱である介護サービスで安定的に収益を確保することが必要です。

デイサービスセンターの事業形態のあり方、ぐるらの利用者確保に向けた改善策に重点的に取り組みました。

（１）中長期経営計画に基づいた取組の推進

令和元年度に策定した『中長期経営計画』に基づき、介護サービス事業を中心とした経営基盤の強化及び安定的に収益を確保できるよう取組を進めました。

豊岡港デイサービスセンターの事業運営について協議した結果、令和３年４月より、地域コミュニティ組織との連携が取りやすい立地条件にあり、地域住民との交流やつながりを活かした地域密着型デイサービスへ移行しました。

（２）地域福祉・生活支援拠点ぐるらの機能強化

利用者の生活・価値観を大切にし、ニーズに沿った通い・訪問・泊りの介護サービスを安定的に提供することで、住み慣れた地域で在宅生活の継続を支援しました。

ぐるらの機能・サービスについて圏域会議において職員の共通理解を図り、市内の居宅介護支援事業所や日高・出石民生委員児童委員協議会（高齢福祉部会）で説明する機会を設けました。

また、ぐるらの施設紹介動画を作成し、豊岡市社協のホームページに掲載することで、新規相談が増加し利用者の確保につながりました。

（３）介護サービス事業の健全経営に向けた強化・充実

利用者のその人らしい豊かな在宅生活を守りきるために、財政面においても確実な収益を確保して安定的な経営の継続を図りました。

採算性の確保に向け、主任介護支援専門員や介護福祉士等の積極的な資格取得・研修受講により、質の高いサービスの提供を実施し、介護職員処遇改善加算Ⅰ及びサービス提供体制強化加算を取得、特定事業所加算の算定要件の維持を図りました。新たな介護職員処遇改善支援補助金を活用して、介護職員等の給料、手当の増額を行いました。

また、介護サービスの質の向上を目的に年次計画に基づく研修を通じた人材育成も行いました。

主な研修内容

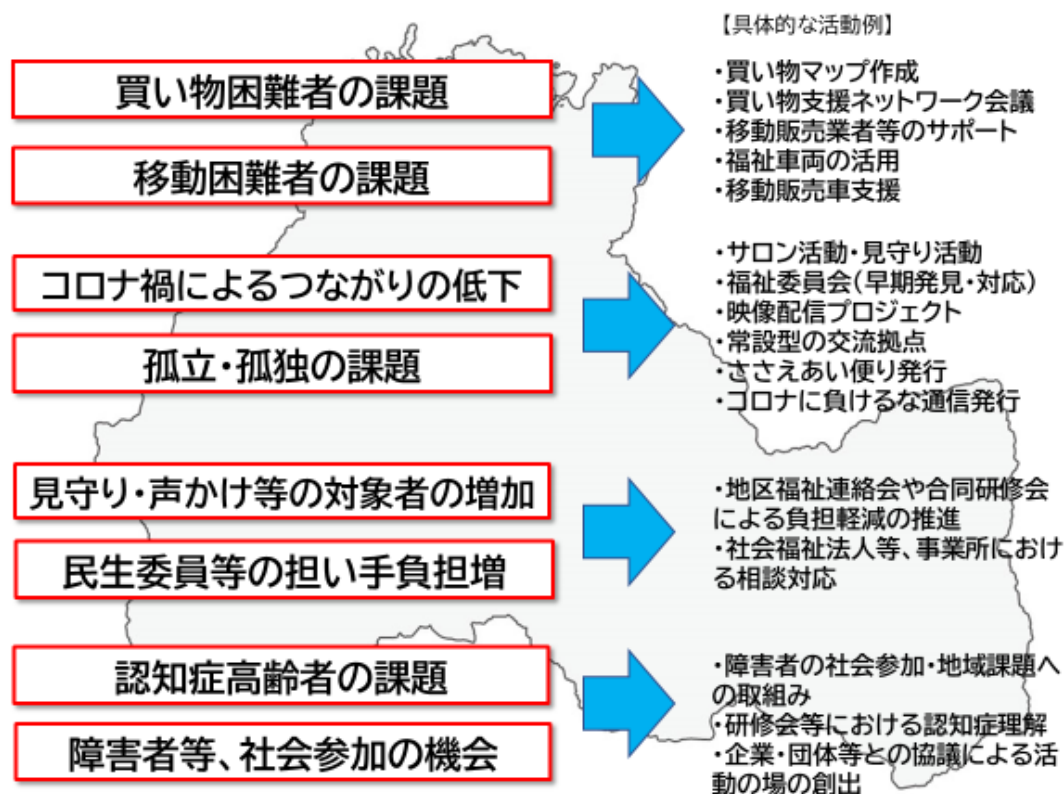
- 介護支援専門員・主任介護支援専門員更新研修
- 実務者研修
- 介護保険制度・報酬改定研修
- 地域ケア概論研修
- 認知症研修
- 事例検討会・介護技術研修

3. 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実

地域福祉計画の基本目標①住民の主体的な地域づくりを基に、行政区・地区圏域における支え合いの地域づくりを、住民や関係機関・団体とともに推進しました。また、地域課題の解決に向け、関係機関や企業、団体等との地域福祉ネットワークの構築に取り組みました。

基本目標②総合的な相談・支援体制づくりを基に、多様化・複雑化する住民のさまざまな困りごとを受け止め、解決に向け市や関係機関、地域と連携・協働する包括的な支援体制の構築に取り組みました。

【地域課題の解決に向けた具体的な活動】



(1) 多様なネットワークによる住民ニーズ・地域課題把握、社会資源開発の検討

地域福祉推進において、4つのエリア階層（行政区圏域、地区圏域、旧市町圏域、市圏域）で活動を展開しました。行政区及び地区圏域においては、集いの場、話し合いの場を地域住民との協働により進め、支え合いの基盤を創ることに重点的に取り組みました。

旧市町圏域、市圏域では、解決に向けて取り組む地域課題を『外出（移動・交通）』に絞り、外出課題のヒアリング調査結果に基づいて、地域住民主体の課題解決に向けた取り組み、関係団体や企業等との課題解決に向けた取り組み（社会資源開発）について検討を行いました。

① 行政区及び地区における支え合いの基盤づくりの推進

支え合いの地域づくりに向けて、住民同士の交流を広げるいきいきサロン等の集いの場づくり、地域の福祉課題を共有し、解決に向けた話し合いや取組みを行う福祉委員会や協議体等の話し合いの場づくりを住民との協働により推進しました。住民との協働の過程において、地域が主体性を発揮して継続的に取り組めるよう、コミュニティワーカーと生活支援コーディネーターが連携し地域支援を展開しました。

【いきいきサロン助成件数】

(単位:件)

令和3年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
行政区	100	18	26	53	41	32	270
地域コミュニティ組織	9	1	3	4	5	3	25

※助成金額:行政区 1年目…5万円 2～4年目…2万円 5・6年目…3万円 7年目以降…2万円

(5・6年目のサロンは経過措置期間。現行規程では2万円)

地域コミュニティ組織 4万円

【支え合いの地域づくり活動助成件数】

(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
令和2年度	113	11	19	31	28	8	210
令和3年度	106	11	18	33	30	11	209

※助成金額:行政区 上限2万円

【協議体(地域サポート会議)の設置状況】(市委託事業)

(単位:地区)

令和3年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
地区	10	1	3	6	6	3	29
設置	8	1	2	4	6	4	24

生活支援コーディネーターが地域コミュニティ組織の福祉部等へ参画し、『協議体(地域サポート会議)』を通じた地域福祉推進に取り組みました。協議体において、地域課題の整理、住民主体による解決への取組みの検討、地域人材の育成の取組み等の支援を継続して行い、地区圏域における住民、事業所等のネットワークづくりや地域の支え合いの基盤づくりを進めました。

また、生活支援コーディネーターは、企業や団体との地域福祉ネットワークの構築において、一般社団法人ちいきのてや生活協同組合コープこうべ等の関係団体や企業、行政との連携のもと、外出課題の解決の取組みに向けたコーディネート、社会資源開発において中心的な役割を果たしています。

② 新たな外出支援策の検討

地域福祉部会及び地域福祉推進委員会において、豊岡市の地域福祉課題の整理を行い、解決に取り組む重点的な課題を『外出(移動・交通)課題』に絞り、令和2年度下半期に高齢者・障害者を対象とした外出ヒアリング調査を実施し困りごとの状況把握を行いました。

【外出ヒアリング調査結果】

項 目	高 齢 者	障 害 者
調査数	217 人(男 59 人・女 158 人)	62 人(男 37 人・女 25 人)
外出の 困り感	困っていない 22% 困っている 40% 将来に不安 38%	困っていない 24% 困っている 39% 将来に不安 37%
総体的 な傾向	身体機能の低下から長く歩くことがつらく、外出を控えている方、親族等の支援を受けていても、気がねして頼みづらいため思うように外出ができない方も多いです。身体面での外出のしづらさや、交通の不便さから生活の幅を狭め、仕方がないことと捉えているとの声が多く聞かれました。	障害により外出に前向きになれない気持ちが聞かれる一方、「外出したい」「生活の幅を広げたい」と社会参加したいが、できない現実があり諦めている方も多いです。また、「一人での外出に不安があり付き添いがほしい」「障害年金のみの収入のため、外出の経済的負担が大きい」という声も多く聞かれました。

住民主体の外出課題の解決の仕組みづくりをめざし、社協の役割を①地域住民の課題解決の取組みのサポート・バックアップ、②住民主体の活動を支える社会資源の開発（企業・団体・行政等との連携）として取組みを進めました。

具体的な取組みとしては、地域（コミュニティ組織等）へ調査結果を報告。地域の外出課題の共有、課題解決に向けた意見交換をすすめる中で、取り組みやすい住民主体の外出支援活動（地域行事への送迎等）の実施のサポートを行いました。また、企業・団体（全但バス、コープこうべ、障害福祉団体）との解決に向けた協議を開始しました。

③ 豊岡市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネットとよおか）への参画

社会福祉法人の専門性を活かした連携・協働を通じて地域福祉推進に寄与することをめざす「社会福祉法人連絡協議会」（市内全 23 法人 26 事業所の参画）の事務局を担い、上半期はコロナ禍により実務担当者会議の開催は延期するも、中心メンバー会議は開催しました。下半期は研修会の開催や、前年度実施した新型コロナウイルス対策実態調査の結果に基づき、災害時等の有事の際に、法人間での助け合いとして「災害時等助け合い事業」の検討を行いました。

項 目	取 組 み 内 容
令和3年度総会 4月 16 日	○実務担当者会議の進捗状況(新型コロナウイルス対策実態調査報告) ○令和2年度事業報告及び会計決算報告 ○令和3年度事業計画(案)・会計予算(案)他
研修会(第1回実務担当者会議) 11 月 19 日	○講演「誰一人おいていかない社会をめざして～ほっとかへんネットたるみの取り組み～」講師:岸田耕二氏(社会福祉法人すいせん理事長、ほっとかへんネットたるみ前代表) ○グループ協議「災害時等助け合い事業について」
第2回実務担当者会議 2月 10 日	○災害時等助け合い事業について ○情報発信(通信)について ○グループ協議「自分たちの値域で取り組むこと」「豊岡市全体で取り組むこと」

④ 災害時の連携・協力体制の強化

大規模災害発生時に、豊岡市と円滑な連携のもと、迅速に災害ボランティアセンターを開設・運営できる体制構築をめざし、市防災課との協議を重ねました。その結果、ボランティアセンター本部及び支部の開設候補施設の選定等を整えることができました。また、豊岡青年会議所、豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部との『災害時における相互協力に関する協定』の締結、豊岡ライオンズクラブ、出石ライオンズクラブ、豊岡亀城ライオンズクラブとの『災害時におけるボランティア支援に関する協定』の締結を行い、有事における各団体との連携に向け関係構築を行いました。

さらに、社協組織内では、災害ボランティアセンターの実行性を高めるために、ボランティアセンターの組織体制や業務内容の見直しにかかる職員協議を行い、災害対応への職員意識の向上、運営マニュアルの改訂を行いました。また、改訂マニュアルに基づき、豊岡青年会議所、豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部、豊岡市、本会との5者による災害ボランティアセンター運営にかかる訓練を実施し、災害時の連携・協力体制の強化を図りました。

⑤ ボランティア・市民活動、福祉学習の推進

ボランティア活動を通じて、住民や地域をエンパワーメントする支援を行い、支え合いの地域づくりを推進するためボランティア・市民活動センターを運営しました。ボランティア活動を希望する人と、ボランティアの力を必要とする人とをつなぐ活動のコーディネート、個人ボランティアやグループの活動環境整備等の支援を行いました。また、障がいや高齢等の理解を図り、地域で支え合う大切さ等を学ぶ福祉学習を小中高等学校や当事者ボランティアと連携・協働し進めました。

しかし、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大によるボランティア活動先の減少に伴い、活動のコーディネート件数は例年の2/3程度となり、ボランティア活動の後退が懸念されます。ボランティア活動の啓発として、ボランティア・市民活動センターのチラシ作成やホームページの修正、社協広報「NIKO」によるボランティアグループ紹介を行い、またボランティア活動担当者会議等による職員の意識統一を図り、ボランティア活動・福祉学習推進に向けて取り組みました。

【ボランティア登録数】

(単位:人)

	年 度	豊 岡	城 崎	竹 野	日 高	出 石	但 東	合 計
グループ数	R2	40	8	6	18	18	8	98
	R3	43	10	6	18	18	8	103
加入者数	R2	709	82	198	260	291	246	1,786
	R3	708	117	185	251	294	246	1,801
個人登録者	R2	309	19	10	6	10	78	432
	R3	312	26	8	5	10	69	430

【コーディネート件数】

(単位:件)

	年 度	豊 岡	城 崎	竹 野	日 高	出 石	但 東	合 計
ボランティア 活動の相談・ 問い合わせ	R2	346	93	19	87	118	54	717
	R3	358	86	21	87	114	66	732
コーディネ ート件数	R2	137	68	297	9	32	312	855
	R3	158	34	294	12	27	307	832

【障がい者（児）の集える場づくり】（市委託事業）

障がい者（児）の社会参加の機会、当事者同士や地域住民との仲間づくり等を目的として、気軽に集える居場所づくりを行いました。企画・運営、実施までの準備等に関して、地域住民や学生の主体性を引き出しながら、障がい者（児）の居場所として定着化を進めました。

地 域	開 催 日	場 所	参加者数
豊岡	11 月 28 日	豊岡健康福祉センター	9 名
	12 月 5 日	五荘コミュニティセンター	14 名
城 崎	7 月 17 日	城崎健康福祉センター	28 名
	10 月 9 日	城崎健康福祉センター	39 名
	12 月 4 日	城崎健康福祉センター	42 名
日 高	10 月 9 日	日高健康福祉センター	22 名
	12 月 11 日	日高健康福祉センター	26 名
出 石	7 月 17 日	出石健康福祉センター	39 名
	10 月 23 日	出石健康福祉センター	45 名
	12 月 11 日	出石健康福祉センター	49 名
但 東	7 月 31 日	但東健康福祉センター	26 名
	10 月 30 日	但東健康福祉センター	15 名
	12 月 11 日	但東健康福祉センター	29 名

【児童・生徒のボランティア活動推進事業助成件数】

豊岡市内小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高めるとともに、地域住民と協働し福祉活動をすることにより自分たちの住む地域に目を向け、地域社会への愛着を高め、「福祉の心」を培うことを目的とする活動を行う学校に、年間5万円の助成を行いました。

(単位:件)

	令和2年度	令和3年度
小 学 校	29	27
中 学 校	9	9
高等学校	7	7
合 計	45	43

【福祉学習支援内容】

障がいのある当事者やボランティアグループ等と協働し、小・中・高等学校の福祉学習のサポートを行いました。体験学習や当事者の講話を聞くことを通じて、児童・生徒の障がいへの理解や思いやりの心を育む働きかけを行いました。

地域	学 校 名	開 催 日	参加者数	内 容
豊岡	クレーク記念高校	4 月 21 日	47 名	認知症サポーター養成研修
	神美小学校	10 月 1 日	23 名	車椅子生活者、車椅子体験
	中筋小学校	10 月 5 日	23 名	視覚障害者、視覚障害者の家族
	八条小学校	10 月 18 日	52 名	視覚障害者、アイマスク体験
	神美小学校	10 月 19 日	23 名	視覚障害者、アイマスク体験
	豊岡小学校	10 月 21 日	59 名	車椅子生活者
	八条小学校	10 月 25 日	52 名	視覚障害者(たじま聴覚)
	豊岡小学校	10 月 27 日	59 名	車椅子体験
	中筋小学校	10 月 29 日	23 名	認知症サポーター養成研修
	豊岡総合高校	11 月 4 日	8 名	視覚障害者、視覚障害者の家族、アイマスク体験
	豊岡小学校	11 月 11 日	59 名	視覚障害者、アイマスク体験
	八条小学校	11 月 12 日	52 名	認知症サポーター養成研修
	八条小学校	11 月 17 日	52 名	車椅子生活者、車椅子体験
	豊岡総合高校	11 月 18 日	9 名	点字体験(さざなみの会)
	神美小学校	11 月 26 日	23 名	認知症サポーター養成研修
	三江小学校	12 月 3 日	22 名	視覚障害者、アイマスク体験
	豊岡総合高校	1 月 13 日	9 名	認知症サポーター養成研修
	豊岡南中学校	3 月 11 日	200 名	視覚障害者、視覚障害者の家族、アイマスク体験
城崎	港小学校	6 月 17 日	33 名	車椅子体験
	城崎小学校	10 月 19 日	26 名	アイマスクの体験 お話
		11 月 10 日	26 名	点字学習 お話
		11 月 15 日	26 名	認知症サポーター養成講座
		11 月 30 日	26 名	車いす体験 お話
	城崎中学校	11 月 18 日	22 名	福祉の基礎学習、 認知症サポーター養成講座
竹野	竹野小学校	6 月 21 日	21 名	アイマスク体験
		6 月 23 日	21 名	点字学習
		6 月 30 日	21 名	高齢者疑似体験
		7 月 12 日	21 名	車いす体験
日高	八代小学校	11 月 12 日	13 名	車いす体験
		11 月 22 日	14 名	アイマスク体験
	府中小学校	2 月 10 日	31 名	車いす体験
	三方小学校	11 月 4 日	22 名	アイマスク体験
		11 月 18 日	22 名	高齢者疑似体験 認知症サポーター養成講座

出石	弘道小学校	10月8日	41名	高齢者疑似体験
	弘道小学校	10月15日	41名	車いす・アイマスク体験
	福住・寺坂小学校合同	11月1日	19名	車いす・アイマスク体験
	福住小学校	11月8日	15名	ユニバーサルスポーツ体験(卓球バレー、ボッチャ)
	出石中学校	11月12日	89名	高齢者疑似体験、認知症学習
	寺坂小学校	11月29日	4名	点字体験
	小坂小学校	12月17日	19名	車いす体験
	小坂小学校	1月18日	19名	ユニバーサルスポーツ体験(卓球バレー、ボッチャ)
但東	資母小学校	6月17日	7名	福祉学習導入、車いす体験事前学習
		6月24日	7名	車いす体験
		7月1日	7名	車いす事後学習(当事者の話)
		7月8日	7名	1学期振り返り、コミュニケーションについて
		9月28日	8名	2学期導入、パラ・五感・視覚障害について
		10月1日	8名	アイマスク体験(但東3小学校合同)
		10月7日	8名	点字体験
		10月15日	8名	点字体験(講師へのお礼の手紙)
		10月28日	8名	高齢者疑似体験
		11月4日	8名	ユニバーサルデザイン、手話体験
		12月9日	8名	2学期まとめ
		1月24日	8名	1・2学期振り返り、3学期導入(地域福祉)
		1月27日	8名	地域福祉(グループワーク①)
		2月3日	8名	地域福祉(グループワーク②)
		3月2日	8名	年間のまとめ
		3月14日	8名	地域福祉(地域住民へ学習発表)
	合橋小学校	6月3日	12名	福祉学習導入、車いす体験事前学習
		6月10日	12名	車いす体験
		6月14日	12名	車いす事後学習(当事者の話)
		6月28日	12名	高齢者について、高齢者疑似体験
		7月5日	12名	1学期振り返り、ボランティア、コミュニケーションについて
		9月28日	12名	2学期導入、パラ・五感・視覚障害について
		10月1日	12名	アイマスク体験(但東3小学校合同)
		10月14日	12名	手話体験
		12月6日	12名	点字体験
		12月9日	12名	点字体験(講師へのお礼の手紙)
		12月13日	12名	年間のまとめ (合橋 Com 高齢者訪問活動へのカード作成協力)
	高橋小学校	5月26日	5名	福祉学習導入、車いす体験事前学習
		6月15日	5名	車いす体験

	6月22日	5名	車いす事後学習(当事者の話)
	6月29日	5名	1学期振り返り、コミュニケーションについて
	9月30日	5名	2学期導入、夏休みの課題発表、パラ・五感・視覚障害について
	10月1日	5名	アイマスク体験（但東3小学校合同）
	10月13日	5名	点字体験
	10月20日	5名	点字体験(講師へのお礼の手紙)
	10月21日	5名	手話体験
	10月22日	5名	点字体験(講師へのお礼の手紙)
	11月16日	5名	高齢者疑似体験
	11月17日	5名	いこいの杜ゆうゆうくらぶ(ささえあい通所事業)見学
	11月26日	5名	2学期まとめ
	1月18日	5名	地域福祉(グループワーク①)
	3月15日	5名	地域福祉(グループワーク②)、年間のまとめ

(2) 福祉委員活動の強化

福祉委員が区長、民生委員、民生・児童協力委員等と連携した見守り・支え合い活動をすすめ、話し合いの場（福祉委員会・見守り会議等）に参加し役割を発揮できるよう、コミュニティワーカーが働きかけと活動のバックアップを行いました。

【福祉委員委嘱数】

(単位:人)

豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域	合 計
161	31	41	70	51	52	406

【福祉委員研修会等の開催状況】

地域	開催日	参加者数	内 容
豊岡	6月26日	46人	【八条地区福祉連絡会】 参加者:区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、八条コミュニティ 内 容:講話「八条地区の福祉活動の推進に向けて」 専門職員より情報提供等 意見交換・情報交換「活動の中で困っていること等」
	7月12日	34人	【田鶴野地区福祉連絡会】 参加者:区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、コミュニティ たづるの 内 容:講話「田鶴野地区の福祉活動の推進に向けて」 専門職員より情報提供等 意見交換・情報交換 「最近の地域の様子／活動の中での困り事について」
	7月21日	25人	【コミュニティ新田ふくし部会】 ※ふくし部会研修会時に福祉委員の役割説明

	11月1日	40人	【コミュニティなかすじまごころ部会】 ※まごころ部会研修時に福祉委員の役割説明
	11月18日	30人	【奈佐地区福祉連絡会】 参加者: 区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、奈佐地区コミュニティなぎさの会 内容: 講話「奈佐地区の福祉活動の推進に向けて」 専門職員より情報提供 意見交換・情報交換
	12月6日	30人	【田鶴野地区福祉連絡会】 参加者: 区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、コミュニティたづるの 内 容: 講話「田鶴野地区の福祉活動の推進に向けて」 専門職員より情報提供 意見交換・情報交換 「最近の地域の様子／見守り活動について」
	3月16日	50人	【三江コミュニティ福祉部会】 ※福祉部会研修時に福祉委員の役割説明
城崎	10月11日	25人	【合同研修会 行政区を3部制に分け開催】 参加者: 福祉委員、町内会長、民生委員、民生協力委員 内容: 説明「コロナ禍から見えた大切なこと」 コロナ禍で見えた課題、工夫した取り組みの紹介 福祉委員会の推進 グループに分かれて意見交換
	10月18日	20人	
	10月21日	24人	
竹野	10月25日	25人	【合同研修会 校区別に3日間開催】 参加者: 民生委員、民生協力委員、福祉委員 内容: 「地域の見守り活動について」 ～民生委員・民生協力委員・福祉委員の連携～ 情報交換
	10月27日	14人	
	10月29日	36人	
日高	10月28日	12人	【各地区コミュニティ別 福祉委員研修会】 参加者: 福祉委員(新規・継続含む) 内容: (1)福祉委員活動(福祉委員の役割)について (2)事前アンケートで把握したニーズをもとに、少人数でのグループワークを実施 (3)こんにちは日高包括支援センター(包括より)
	11月2日	5人	
	11月4日	7人	
	11月9日	15人	
	11月11日	4人	
	11月12日	13人	
出石	7月27日	33人	【合同研修会 校区別に3日間開催】 参加者: 福祉委員、区長、民生委員 内 容: 福祉委員の活動と役割について 見守り活動の進め方 異変や困りごとのつながり方 福祉委員・区長・民生委員等へ繋ぐネットワークづくりについて 情報交換 支え合いの地域づくり事業について
	7月29日	29人	
	8月3日	37人	

但東	7月21日	37人	【資母地区福祉連絡会】 参加者:区長、民生委員、福祉委員、資母まちづくり協議会暮らしづくり部会長 内 容:説明「見守り活動と連携について」 取組紹介「畑山区福祉委員会」 取組紹介「資母まちづくり協議会暮らしづくり部会」 情報交換 支え合いの地域づくり活動助成金について 地域包括支援センター但東分室の紹介
	8月19日	29人	【合橋地区福祉連絡会】 参加者:区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、コミュニティあいはい会長 内 容:説明「見守り活動と連携について」 情報交換「地域の集まる場、情報共有の場について」 支え合いの地域づくり活動助成金について 地域包括支援センター但東分室の紹介
	11月4日	22人	【高橋地区福祉連絡会】 参加者:区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、高橋振興対策協議会ささえあい部会委員 内 容:説明「見守り活動と連携について」 取組紹介「畑山区福祉委員会」 情報交換「畑山区の取組を聞いて参考になったこと」 支え合いの地域づくり活動助成金について 地域包括支援センター但東分室の紹介

(3) 豊岡市地域福祉計画の策定

豊岡市との共同による次期「豊岡市地域福祉計画」の策定に向けた市と社協の関係課職員による作業部会、地域住民代表者や有識者、関係機関・団体職員による策定委員会を開催し、住民の主体的な地域づくり、包括的支援体制の構築について協議を行いました。

【策定委員会の開催状況】

会 議 名	開 催 日	内 容
第2回策定委員会	8月5日	○グループインタビュー結果 ○地域福祉における現状と課題 ○計画骨子体系(案)
第3回策定委員会	10月6日	○豊岡市地域福祉計画の進捗について ○基本理念及び基本目標 ○施策展開
第4回策定委員会	12月7日	○基本理念及び基本目標 ○計画の推進体制 ○地域福祉計画(素案)

【作業部会の開催状況】

参集範囲	開催回数
(市) : こども育成課、こども支援センター、コミュニティ政策課、政策調整課、 高年介護課、健康増進課、社会福祉課の係長以上の実務者 (社協) : 地域福祉課、在宅福祉課の実務者	9回

(4) 総合的な相談支援事業の推進

総合相談センター（総合相談・生活支援センター、障害者基幹相談支援センター、各地域包括支援センター）を中心に、高齢者、障がい者、生活困窮、制度の狭間にある住民や複合的な課題のある世帯等への支援に向けて、地域住民、関係機関・団体等と連携・協働し取り組みました。

① 総合相談・生活支援センター業務（市委託事業）

生活に困窮し、生きづらさを抱えた相談者の話を丁寧に聴き、気持ちに寄り添い、意欲の回復や自信を取り戻す支援を市・関係機関・地域住民・企業等と連携しながら、「経済的自立」「日常生活自立」「社会生活自立」に向けて取り組みました。また、制度の狭間や社会的孤立、複合的な課題を抱える世帯に対し、社協・市の庁内連携体制による横断的な支援体制づくりに取り組みました。

なお、新型コロナウイルス特例貸付総合支援資金の申込みにおいて、若年層や子育て世帯の相談が増加しました。就学援助制度や子育て世帯への臨時特別給付金等の制度利用に繋げ、関係機関や地域住民と連携・協働しました。

【新規相談受付件数】（単位:件）

令和2年度	令和3年度
346	233

【自立支援プラン作成件数】（単位:件）

令和2年度	令和3年度
30	21

【相談件数】（重複あり）

（単位:件）

	病気 障害	住まい	収入 生活費	家賃 ローン支払	税金 公共料金 支払	債務	仕事探し 就職	仕事上の 不安、 トラブル
R2	97	22	308	180	95	34	90	64
R3	61	22	218	65	55	28	51	22
	地域との 関係	家族関係 人間関係	子育て 介護	ひきこも り、不登校	DV 虐待	食べるもの が無い	その他	合計
R2	4	24	33	10	1	17	10	989
R3	7	24	25	4	0	43	7	632

② 地域包括支援センター業務（市委託事業）

重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進する中核的機関として、高齢者の総合相談支援、権利擁護支援、認知症予防・支援を推進しました。

4つの地域包括支援センターを取りまとめる統括職員を新たに配置し、高齢者部門の総合相談機能の向上を図りました。

【相談件数】（重複あり）

（単位：件）

事業所	年度	介護相談	総合事業	介護予防	介護給付	入退所・院	高齢者福祉	障がい者福祉	保健・医療	権利擁護	認知症に関する事	経済	その他	合計
豊岡	R2	1,538	2,683	4,432	582	407	3,262	181	764	476	824	221	642	16,012
	R3	1,924	2,819	4,758	539	442	5,038	245	1,248	678	556	201	474	18,922
城崎・竹野	R2	171	1,317	1,694	171	76	981	51	392	228	126	154	231	5,592
	R3	782	1,181	1,662	98	177	2,147	73	549	45	146	75	223	7,158
日高	R2	231	2,065	2,838	332	194	734	48	344	181	83	15	61	7,126
	R3	309	1,848	3,384	382	294	1,310	107	428	450	115	50	83	8,760
出石・但東	R2	531	1,397	1,752	228	316	1,086	14	493	104	60	62	253	6,296
	R3	339	1,791	2,265	88	334	2,031	54	250	179	122	59	113	7,625
合計	R2	2,471	7,462	10,716	1,313	993	6,063	294	1,993	989	1,093	452	1,187	35,026
	R3	3,354	7,639	12,069	1,107	1,247	10,526	479	2,475	1,352	939	385	893	42,465

【虐待対応件数】

（単位：件）

	年度	前年度からの継続	通報 (内虐待認定)	虐待件数	終結	対応継続
豊岡	R2	10	11(7)	17	11	6
	R3	6	16(6)	12	5	7
城崎・竹野	R2	1	7(5)	6	3	3
	R3	3	2(2)	5	2	3
日高	R2	4	5(1)	5	3	2
	R3	2	16(10)	12	9	3
出石・但東	R2	0	8(6)	6	3	3
	R3	3	8(4)	7	5	2
合計	R2	15	31(19)	34	20	14
	R3	14	42(22)	36	21	15

【ケアマネジャーへの支援回数】

(単位:回)

	年度	ケース 検討会議	同行訪問	個別相談 情報提供	サービス 担当者会議	合 計
豊 岡	R2	56	314	1,653	45	2,068
	R3	23	270	1,531	34	1,858
城崎・竹野	R2	5	57	100	13	175
	R3	7	111	329	18	465
日 高	R2	23	54	318	20	415
	R3	9	54	400	18	481
出石・但東	R2	8	61	66	14	149
	R3	5	81	131	12	229
合 計	R2	92	486	2,137	92	2,807
	R3	44	516	2,391	82	3,033

【ケアプラン作成件数】

(単位:件)

	豊 岡	城崎・竹野	日 高	出石・但東	合 計
令和2年度	6,813	2,831	3,531	3,362	16,537
令和3年度	7,255	2,900	3,681	3,111	16,947

※予防給付・総合事業・支え合い・からだ元気塾・委託件数含む

③ 障害者基幹相談支援センター業務（市委託事業）

地域の相談支援の拠点として、障がいのある方やその家族の住まいや就労、社会参加など、地域の障がいのある方の生活や福祉の総合的な相談窓口として、必要な情報の提供や助言、障害福祉サービスの利用支援を行い、関係機関、地域住民と協働しながら支援を行いました。障がい者虐待防止センター業務については、早期発見と迅速な対応を行うため通報、届出受理（電話、ファックス、メール等 24 時間受付）を行うと共に再発防止の観点から虐待後の支援も行いました。

【一般相談支援実人数】（単位:人）

令和2年度	令和3年度
147	180

【一般相談件数】（重複あり）

(単位:件)

	制度 利用	障害・ 病状の 理解	健康 医療	不安 解消	保育 教育	家族・ 人間関 係	家計 経済	生活 技術	就労	社会 参加	その 他	合計
R2	1,372	42	77	307	15	42	66	44	137	14	157	2,273
R3	843	96	164	161	24	81	96	75	149	13	158	1,860

【地域の相談支援事業所に対する訪問等による支援】

	相談支援事業所	利用者 実人数	支援方法					合計
			支援 会議	電話	来所	同行	その他	
令和2年度	7事業所	10 人	29 回	43 回	0 回	31 回	12 回	115 回
令和3年度	11事業所	22 人	30 回	21 回	4 回	8 回	40 回	103 回

【虐待受理実件数】 (単位:件)

令和2年度	令和3年度
6	7

【計画相談支援実人数】 (単位:人)

	令和2年度	令和3年度
障がい者	194	198
障がい児	46	34
合 計	240	232

(5) 社協セーフティネット機能の充実・強化

社協としての生活困窮世帯へのセーフティネット機能を果たせるよう、生活福祉資金及び法外援護資金の貸付相談事業を通じて困窮世帯の困りごとを受け止め、課題解決に受けて、総合相談センター各部署（総合相談・生活支援センター、障害者基幹相談支援センター、地域包括支援センター）や市関係課等へつなぎ、連携して解決に向けて取り組みました。

① 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯などで生活に一時的に困窮している世帯に対し、必要な費用の一部を貸し付けるとともに、民生委員や社会福祉協議会による相談支援を行うことによって、社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等で収入減少のあった世帯や、失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対する緊急かつ一時的な生活資金等の貸付を実施しました。

【貸付状況】

資 金 種 類	令和2年度		令和3年度	
	件数	貸 付 金 額	件数	貸 付 金 額
福祉資金	0 件	0 円	0 件	0 円
教育支援資金	6 件	10,568,000 円	1 件	379,600 円
総合支援資金	1 件	600,000 円	0 件	0 円

緊急小口資金	7 件	210,000 円	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金	1 件	50,000 円	0 件	0 円
緊急小口資金 (新型コロナウイルス特例貸付)	312 件	50,250,000 円	134 件	23,500,000 円
総合支援資金 (新型コロナウイルス特例貸付)	162 件	83,220,000 円	122 件	66,900,000 円

【相談件数】

(単位:件)

資 金 種 類	令和2年度	令和3年度
従来の生活福祉資金貸付(延件数)	403	165
新型コロナウイルス特例貸付(実件数)	839	605

② 法外援護資金貸付事業

失業や病気等様々な理由で困窮し、緊急的に資金が必要な者に対し、法外援護資金の貸付により、生活をつなぎ自立に向けた支援を行うことを目的に実施しました。

電気等のライフライン停止や受診代等の緊急的な資金が必要な世帯に対しては、緊急少額資金により迅速な貸付対応を行いました。

【貸付状況】

資 金 種 類	令和2年度		令和3年度	
	件数	貸 付 金 額	件数	貸 付 金 額
法 外 援 護 資 金	3 件	126,000 円	1 件	50,000 円
緊 急 少 額 資 金	4 件	47,000 円	3 件	34,739 円

③ 日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力に不安のある方に対して、福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理を通じて、地域において自立した生活が送れるよう支援を行いました。

【契約件数】

(単位:件)

令和2年度	令和3年度
79	78

【問い合わせ・相談件数】

(単位:件)

	令和2年度	令和3年度
福祉サービス利用援助事業に関して	4,120	4,051
成年後見制度に関して	96	52
その他	980	1,795
合 計	5,196	5,898

④ 緊急食料支援事業

生活に困窮し食糧を食べることができない世帯へ食料を提供し、生活困窮者自立相談支援（総

合相談・生活支援センター）による相談支援を行い世帯の自立に向けて取り組みました。

【支援・寄付受付状況】

(単位：件)

	令和2年度	令和3年度
食料寄付	76	97
食料支援	32	60

【ニーズキャッチ機関】

(単位：件)

機関・部署	令和2年度	令和3年度
市社会福祉課	5	19
市健康増進課	1	4
市振興局	1	0
こども支援センター	0	2
社協本所	1	6
社協支所	2	5
障害者基幹相談支援センター	0	1
民生委員	0	1
ハローワーク	0	0
地域住民	0	0
地域包括支援センター	1	0
総合相談・生活支援センター	21	22
合 計	32	60

⑤ 新型コロナウイルス感染症自宅待機（自宅療養）者生活支援事業（市委託事業）

新型コロナウイルス感染症のため自宅待機等で外出ができない家庭への生活支援として、希望する家庭に自宅待機などの期間中に必要な日用品等を配達しました。

【配達件数】

(単位：件)

支援内容	利用料金	令和2年度	令和3年度
感染対策セット(市が指定する物品)	自己負担なし(市負担)	2	115
食糧支援セット(市が指定する食品)	自己負担なし(市負担)	0	58
特定の日用品	商品代金自己負担	0	1

※令和3年2月22日より開始

(6) 各種相談活動の推進

市民の生活・福祉課題を発見し、様々な生活援助や地域福祉活動につなげるため、小地域福祉活動と連携した身近な相談窓口と専門職との連携を図りました。

① 法律相談

弁護士が市民の財産・家族間等の問題について法的な手続きを含めた確かな助言を行い、

市民の財産・権利の維持・継続を支援することを目的として実施しました。

開設日…毎月第1火曜日

【相談件数】 (単位:件)

令和2年度	令和3年度
80	90

② 心配ごと相談

市民が抱える家族・介護・生計など生活上の様々な心配ごとについて職員が相談に応じ、解決のための助言を行い、誰もが安心して自分らしい生活が送れるようにすることを目的に実施しました。

【相談件数】 (単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
令和2年度	34	11	3	10	5	3	66
令和3年度	20	6	2	7	2	4	41

③ 結婚相談

結婚を望んでいるが、出会いの機会が少ない等の理由により結婚に至らない方へ、結婚相談員が相談・助言や紹介を行いました。また、豊岡市内だけにこだわらず但馬全域の登録者の中で相談員による情報交換を行い、よい出会いの提供に取り組みました。

【実施状況】 (単位:件)

	地域	相談件数	紹介	見合い	成婚	成婚の内、相談員が関わった件数(再掲)
令和2年度	豊岡	23	312	104	4	2
	日高	10	244	92	2	2
	合計	33	556	196	6	4
令和3年度	豊岡	8	221	81	8	1
	日高	8	200	70	4	2
	合計	16	421	151	12	3

※結婚相談所開設日 豊岡…第1・3金曜日 日高…第2・4水曜日

【結婚相談所登録者数】 (単位:人)

	地域	全但登録者数			未登録者 (相談員が釣書を預かっている方)		
		男	女	計	男	女	計
令和2年度	豊岡	62	37	99	13	10	23
	日高	41	27	68	9	13	22
	合計	103	64	167	22	23	45
令和3年度	豊岡	66	38	104	9	7	16
	日高	45	29	74	11	10	21
	合計	111	67	178	20	17	37

4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現

地域において、利用者がその人らしく豊かに生活が送れるように、単に決められた介護サービスの供給だけでなく、既存のサービスの枠を超えて、個々のニーズを拾い上げ、的確に柔軟に対応し、例え終末期ケアが必要な状態になっても「在宅生活を守りきる」体制づくりを進めました。

(1) 在宅生活を守りきる介護サービスの実施

① 居宅介護支援事業

在宅の要介護・要支援者が介護サービス等を適切に利用できるよう、利用者の依頼を受けて、その心身の状況、生活環境、利用者及びその家族の希望を勘案し、居宅サービス事業所や関係機関と連携・調整を図りました。

【延利用者数】

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	比 較
豊 岡	1,741	1,831	90
豊岡北	1,527	1,412	△115
日 高	2,023	1,938	△85
出石・但東	2,421	2,436	15
合 計	7,712	7,617	△95

② 訪問介護事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院介助を行いました。

【延利用者数】

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	比 較
豊 岡	10,912	9,772	△1,140
竹 野	10,054	9,720	△334
日 高	18,559	16,859	△1,700
出 石	19,770	20,005	235
合 計	59,295	56,356	△2,939

③ 訪問入浴介護事業

看護職員1名と介護職員2名が利用者宅を訪問し、組み立て式浴槽にて入浴、洗髪などのサービスを提供しました。入浴前後には、看護職員が健康チェックを行いました。

【延利用者数】

(単位:人)

令和2年度			令和3年度			比 較		
介護	障がい	合計	介護	障がい	合計	介護	障がい	合計
1,427	374	1,801	1,467	374	1,841	40	0	40

④ 通所介護事業

要介護・要支援状態にある利用者へ健康チェック、入浴、レクリエーションなどを通じて心身の機能の維持や交流の場を提供しました。また、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

【延利用者数】

(単位:人)

	令和2年度			令和3年度			比 較		
	介護	障害	合計	介護	障害	合計	介護	障害	合計
豊岡港	5,301	0	5,301	4,502	0	4,502	△799	0	△799
豊岡西	4,895	178	5,073	4,446	204	4,650	△449	26	△423
竹野	6,733	59	6,792	6,385	55	6,440	△348	△4	△352
竹野南	2,832	0	2,832	2,316	0	2,316	△516	0	△516
日高西	7,121	9	7,130	6,871	8	6,879	△250	△1	△251
日高東	6,381	51	6,432	6,585	54	6,639	204	3	207
但東	5,534	0	5,534	6,028	0	6,028	494	0	494
合計	38,797	297	39,094	37,133	321	37,454	△1,664	24	△1,640

⑤ 地域福祉生活支援拠点ぐるらん（小規模多機能型居宅介護事業）

日中の通い、夜間の泊り、24 時間対応の訪問を組み合わせ、一人ひとりのニーズ・生活に合わせたオーダーメイドの支援に取り組みました。

【利用状況】

	令和2年度	令和3年度	比 較
実登録者数	29 人	34 人	5 人
月 平 均	19 人	20 人	1 人
訪 問	2,508 回	3,310 回	802 回
通 所	2,940 回	3,018 回	78 回
宿 泊	284 回	333 回	49 回

（２）障害福祉サービス事業の推進

① 障害者サービス事業

訪問介護員が身体に障がい、知的障がい、精神障がいがある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事介助などの身体介護や、掃除、洗濯、調理などの家事援助や外出の支援、移動介助を提供しました。

【居宅介護 延利用者数】

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	比 較
豊 岡	2,465	2,114	△351
竹 野	1,561	1,429	△132

日 高	1,731	1,302	△429
出 石	2,147	2,119	△28
合 計	7,904	6,964	△940

【同行援護 延利用者数】

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	比 較
豊 岡	63	36	△27
竹 野	192	115	△77
日 高	19	72	53
出 石	170	178	8
合 計	444	401	△43

【移動支援 延利用者数】

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	比 較
豊 岡	47	60	13
竹 野	49	55	6
日 高	23	16	△7
出 石	40	21	△19
合 計	159	152	△7

(3) 在宅福祉サービスの充実

① 産前・産後サポーター派遣事業（市委託事業）

妊娠、出産及び子育てに関する悩みや不安を抱える方や、家族等から産後の支援を受けられない方に、家事援助及び相談を行い、身体の負担の軽減と心身の安定を図り、安心して子育てができるように援助を行いました。

【延利用者数】

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	比 較
豊 岡	367	500	133
竹 野	1	0	△1
日 高	226	87	△139
出 石	76	99	23
合 計	670	686	16

② 福祉用具貸与事業

高齢や障がいなどにより日常生活に支障を伴う方に福祉用具を一時的に貸し出すことにより、自立した在宅生活が継続できることを目的に実施しました。

【貸出件数】※品目…車いす、電動ベッド、松葉杖、歩行補助杖、歩行器等

(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
令和2年度	120	6	22	66	45	40	299
令和3年度	96	14	31	90	64	34	329

③ 生きがい活動支援通所事業（市委託事業）

要介護認定を受けていない高齢者で家に閉じこもりがちな方に対し、体操やレクリエーション等を行うことで社会的孤立の解消や介護予防を図ることを目的に実施しました。

【実施状況】

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	合計
開催回数	R2	17回	10回	21回	10回	83回	141回
	R3	7回	12回	24回	11回	96回	150回
延利用者数	R2	21人	145人	216人	22人	837人	1,241人
	R3	9人	187人	223人	14人	822人	1,255人

④ 給食サービス事業（食の自立支援事業）（市委託事業）

ひとり暮らしや高齢者世帯で心身に支障があり調理が困難な方に、ボランティアの協力を得ながら栄養バランスの取れた食事を届けることにより、栄養改善を図るとともに配食を通じた見守りを行い、健康で自立した生活が維持できることを目的に実施しました。

【実施状況】

	年度	竹野	但東	合計
実施日数	R2	147日	147日	294日
	R3	143日	144日	287日
延利用者数	R2	3,305人	3,134人	6,439人
	R3	2,785人	3,135人	5,920人

⑤ 家族介護支援事業（市委託事業）

高齢者を在宅で介護している家族等に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりなどについての知識・技術を習得する機会の提供や、介護者相互の交流を通じて介護者のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

【実施状況】

	年度	城崎	竹野	出石	但東	合計
開催回数	R2	4回	4回	6回	6回	20回
	R3	5回	5回	3回	3回	16回
延参加者数	R2	12人	8人	19人	22人	61人
	R3	42人	70人	14人	16人	142人

5. 様々な地域課題に対応する人材育成と確保

豊岡市社協が地域福祉活動を推進する組織として、職員の資質・スキルアップ向上を図るために、役職・等級等に応じた内部・外部研修により職員の資質向上を図りました。

(1) 計画的な研修体系の構築・実践、業務内容への反映

職員の資質や能力の向上を目的に、職種・役職に基づいた組織内部・外部研修を体系的に実施しており、研修内容が各職員の所属部署・事業所内で共有され、業務内容に反映されるよう研修内容の報告の徹底を図りました。

【職員内部研修実施状況】

研 修 名	講 師	対 象 者	参加者数
新任職員研修	事務局長、事務局次長 地域福祉課課長補佐 地域福祉課生活支援係長、副主任	新任の正規職員、 嘱託職員	12 名
地域福祉研修	事務局長、事務局次長 地域福祉課課長補佐 地域福祉課生活支援係長、副主任	新任の正規職員、 嘱託職員、希望者	19 名
ハラスメント防止研修	ひょうご仕事と生活センター 外部相談員 杉本 登志子 氏	管理職、監督職、 主任、副主任、希望者	22 名
SDGs 研修	里山ライフスタイル・コンサルティング代表 岡田 宏一 氏	0～2 等級、希望者	27 名
コミュニケーション研修	NPO法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク 事務局長：戸田 和代 氏	正規職員、嘱託職員、 非常勤職員、非常勤ヘルパー、 希望者	21 名
VR 認知症体験研修	株式会社シルバーウッド	介護職員、主任、 副主任、生活相談員、サービス提供責任者、専門官、 その他希望者	28 名
メンタルヘルスライ ンケア研修	一般社団法人日本産業カウンセラー協会関西支部 濱咲 千穂氏	主任、係長、支所 長、課長補佐 希望者(管理職、 専門官、副主任)	19 名
説明力向上研修	株式会社アイル・キャリア 代表 五十嵐 康雄氏	主任、副主任、管 理職、監督職、希望者	20 名

コンプライアンス研修	介護労働安定センター兵庫 講師 岡本 圭左 氏	介護職員（デイサービスセンター・ぐるらん）非常勤職員（希望者）	13 名
------------	----------------------------	---------------------------------	------

（２）働きやすい職場環境づくりの整備

職員の意見を積極的に取り入れ、職員が熱意と柔軟な発想を持って業務に取り組めるよう、風通しが良く働きやすい職場環境の整備に取り組みました。

主な取り組み内容

- ノー残業デイを決め実行
- 朝礼後にミーティングを設け業務の進捗状況を共有
- 昼休憩を確実に取り、業務効率を向上
- 定期的に自分の業務の悩みや進捗状況を報告する機会を設定
- 職員等の表彰制度を制定
- 職員人材確保計画を検討

（３）介護職員初任者研修の開催

介護ニーズの増大や多様化に対応していくために、市民を対象とした介護職員初任者研修を開催し、介護業務に従事することを希望している方が、介護を行う上での基礎的な知識・技術を学ぶことで介護人材の確保につながるよう取り組みました。

- 開催期間 令和３年６月５日～令和４年１月２９日
- 受講生 １１人

6. 社協活動の見える化・透明性の確保

地域福祉活動を推進していくために、様々な場面・媒体等を通じて豊岡市社協が目ざす姿・方向性の発信機能を強化し、住民・NPO・企業・関係機関等の豊岡市社協に対する理解を図り、協力者を増やすことに取り組みました。

(1) 広報活動の促進

随時更新するホームページ及びフェイスブックを通じて、社協活動やコロナ禍における地域活動の状況を広く発信しました。

また、毎月市内全世帯に発行する広報紙「NIKO」の紙面の充実を図り、地域の福祉活動、まちづくり、ボランティアに関する情報など、市民が必要とする情報を掲載しました。

主な発信内容

- 新型コロナウイルス禍における地域の見守り・支え合い活動の状況
- いきいきサロン、地域応援事業等の社協助成事業、福祉関係機関が実施するボランティア活動助成の案内
- 善意銀行への寄付・活用状況、緊急食料支援事業への寄付状況
- 婚活イベント、ボランティア養成講座等の住民参加事業の案内
- 全国各地で発生した大雨・豪雨災害への義援金募集
- 事業計画、予算、事業報告、決算
- 地域福祉・生活支援拠点ぐるらの紹介ページ、動画をアップロード

(2) 市民参画による地域福祉財源の活用の検討

善意銀行プロジェクトチームで検討を重ねた経済的に困窮する世帯の子どもの夢のサポートに向けて、スポーツ、文化活動等に必要な経費に対して給付を行う新規事業を立ち上げました。福祉活動や善意銀行への協力者の増加を図るため、市民ライターの参画による市内の福祉活動・人材、善意銀行等の情報を発信する福祉情報ポータルサイト「とよニコ」を開設しました。

【善意銀行寄付受付状況】

	令和2年度	令和3年度	比 較
寄付件数	216 件	201 件	△15 件
金 額	8,884,234 円	8,777,968 円	△106,266 円

【活用状況】

事 業	内 容	件数
子どもの事故防止事業 (新入学児童ランドセルカバー贈呈)	市内小学校の新入学児童全員へ交通事故防止の安全対策として、黄色のランドセルカバーを贈呈。コープ共済と共同実施。	630

除雪お手伝い事業助成	自力で除雪が困難な独居高齢者等に対し、玄関等家の周りの除雪や屋根からおろした雪の除雪に係る費用の一部を助成。	38
火事見舞金	火災により住宅を全焼又は半焼(水損を含む)した世帯へ30,000円の見舞金を支給。	4
新入学児童・生徒制服購入事業	新入学児童・生徒のいる要保護世帯に対して、制服やランドセル購入等、新入学準備お祝い金を民生委員・児童委員を通じてお届け。 小学校入学 1名につき 15,000円 中学校入学 1名につき 20,000円	14
地域活動支援センター運営助成	地域活動支援センターが事業に使用する車両、備品購入費の一部を助成し、安定的な運営を支援。	1
但馬地区里親会へ助成 (事務局 豊岡こども家庭センター)	但馬地区里親会の活動支援として賛助金を助成。	1
青少年非行防止事業 (事務局 豊岡保護区保護司会)	コミュニティセンター、健康福祉センター等の公共施設へ掲示する啓発活動のための標語パネル費用の一部補助。	1
地域住民交流拠点づくり活動助成	空き店舗、空き家などを活用し、多様な住民(子ども、子育て世代、働く世代、障がいを抱える方など)が集う毎日型の「住民交流拠点」の設置や運営に係る経費を助成。	5
子どもの夢応援事業	経済的な理由で、文化およびスポーツに係る臨時的な支出が難しい豊岡市内の小・中学生の保護者を対象に、学校生活で必要になる物品の購入費用や、大会等の参加費を給付。	1
豊岡市福祉情報サイト「とよニコ」運営事業	市内の福祉活動・人材、善意銀行等の情報について、市民ライターが記事を作成。	—

7. 法人運営

(1) 理事会

回数	開催日	出席 理事数	協議事項
1	4月23日	12名 監事2名	報告事項7件 第1号議案 押印廃止に伴う関係規則の整理に関する規則について 第2号議案 豊岡市社会福祉協議会ふれあいいきいきサロン事業助成規程の一部改正について
2	6月2日	11名 監事2名	報告事項6件 第3号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第4号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会決算について 監査報告 第5号議案 評議員選任・解任委員の選任について 第6号議案 第8期評議員候補者の推薦について 第7号議案 豊岡市社会福祉協議会正規職員6月賞与について 第8号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託職員6月一時金について 第9号議案 功労者の表彰について
3	6月18日	11名 監事2名	報告事項2件 第10号議案 理事長・副理事長の互選について 第11号議案 苦情解決の第三者委員の選任について
4	7月30日	10名 監事2名	報告事項5件 第12号議案 令和3年度共同募金(令和4年度事業費) 「地域目標額」の設定に係る豊岡市社会福祉協議会充当計画について
5	8月20日	10名 監事2名	報告事項5件 第13号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について
6	10月8日	10名 監事2名	報告事項1件 第14号議案 豊岡市健康福祉センターの廃止に関し、豊岡市社会福祉協議会としての基本方針を決定することについて
7	11月26日	12名 監事2名	報告事項12件 第15号議案 役職員等の旅費規程の一部改正について 第16号議案 豊岡市社会福祉協議会正規職員12月賞与について 第17号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託職員12月一時金について 第18号議案 介護保険事業積立金の取り崩しについて 第19号議案 令和3年度歳末たすけあい運動分配について

8	12月15日	13名 監事2名	報告事項4件 第20号議案 評議員の退任について 第21号議案 評議員の推薦について 第22号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について 第23号議案 令和3年度第2回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について
9	3月15日	12名 監事2名	報告事項9件 第24号議案 定款の一部改正について 第25号議案 豊岡市地域福祉計画案について 第26号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算案について 第27号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第28号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について 第29号議案 令和3年度第3回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について 第30号議案 事務局規程の一部改正について 第31号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 第32号議案 善意銀行規程の一部改正について 第33号議案 豊岡市結婚相談所運営規程の一部改正について 第34号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 第35号議案 役員等賠償責任保険契約について

(2) 評議員会

回数	開催日	出席 評議員数	協議事項
1	6月18日	14名	第1号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第2号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会決算について 第3号議案 第9期理事の選任について 第4号議案 第9期監事の選任について
2	12月23日	15名	報告事項3件 第5号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について
3	3月24日 (書面決議)	20名	第6号議案 定款の一部改正について 第7号議案 豊岡市地域福祉計画案について 第8号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正

			予算案について 第9号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第10号議案 令和4年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について
--	--	--	--

(3) 正副理事長会議

開催回数…12回

(4) 部会・委員会

地域福祉活動を推進する中核的な組織として、社会情勢の変化に迅速に対応できる組織づくりに向けて、各部会・委員会を中心にマネジメント機能の強化、住民参画による組織運営に取り組みました。

部会・委員会	開催日	協議事項
経営戦略部会	5月31日	令和2年度豊岡市社会福祉協議会事業報告書(案)について 令和2年度豊岡市社会福祉協議会決算書(案)について 新100歳祝福事業の方向性について
	3月3日	委員長・副委員長の互選について 令和3年度決算見込みについて 経費削減のための取り組み状況について 令和3年度第2次資金収支補正予算案について 令和4年度事業計画案及び資金収支当初予算案について 福祉団体活動助成事業について
地域福祉部会	5月11日	外出(移動・交通)の課題解決に向けて
	10月7日	外出(移動・交通)の課題解決に向けた取り組みについて
	1月11日	外出(移動・交通)の課題解決に向けた取り組みについて
在宅福祉部会	8月10日	令和3年度在宅福祉部会進め方について 人材確保の取り組みについて 介護サービス事業の実施経過と予測および推移について
	11月29日	人材確保職員プロジェクト立ち上げについて
	3月4日 (書面会議)	人材確保計画(案)について
善意銀行 運営委員会	12月2日	令和3年度地域活動支援センター施設整備助成について 寄付に対する感謝状の贈呈について
	3月28日	令和3年度善意銀行預託状況、活用内容について 豊岡市福祉情報サイト「とよニコ」について 令和4年度善意銀行運営事業計画(案)、予算(案)について 寄付に対する感謝状の贈呈について

(5) 監査会

回数	開催日	内 容
1	5 月 26 日	令和2年度豊岡市社会福祉協議会事業報告・決算 令和2年度豊岡市共同募金委員会事業報告・決算
2	11 月 16 日	令和3年度上半期事業報告・経営状況報告

(6) 評議員選任・解任委員会

回数	開催日	協議事項
1	6 月 16 日	第8期豊岡市社会福祉協議会評議員の選任について 20 名
2	12 月 22 日 (書面決議)	第8期豊岡市社会福祉協議会評議員の選任について 1 名

(7) 苦情受付

苦情受付件数 17 件

【苦情申出人の属性区分】

(単位:件)

サービス利用者	3
サービス利用者家族	7
一般住民	5
ケアマネジャー(他法人)	2

【苦情の事業区分】

(単位:件)

法人運営	4
ケアプランセンター	3
ヘルパーステーション	2
デイサービスセンター	3
小規模多機能型居宅介護	2
地域包括支援センター	1
障害者基幹相談支援センター	1
総合相談・生活支援センター	1

【苦情の内容区分】

(単位:件)

内容	受付	終結
サービス・ケアの内容に関すること	4	4
職員の態度・対応に関すること	4	4
運転・駐車方法に関すること	4	4
説明・情報不足	4	4
情報管理	1	1

【第三者委員会】

令和4年3月25日開催

第三者委員 3名出席

（８）社協会費

【一般会費】（一世帯あたり年額 1,200 円）

	世帯数	会費納入額	納入世帯数	前年度対比
令和2年度	31,780 世帯	28,577,640 円	23,825 世帯	180,840 円
令和3年度	31,815 世帯	28,591,500 円	23,834 世帯	13,860 円

【賛助・施設会費】（年額 2,000 円以上）

	賛 助 会 費		施 設 会 費		一般会費との 合計金額	前年度対比
	件数	金 額	件数	金 額		
令和2年度	393	1,734,800 円	24	75,000 円	30,387,440 円	27,840 円
令和3年度	372	1,673,000 円	26	80,000 円	30,344,500 円	△42,940 円

（９）その他の事業

① 最高齢夫婦祝福事業

豊岡市内の最高齢者・最高齢夫婦に9月の高齢者保健福祉月間に祝金（各1万円）を贈呈しました。

② 新100歳祝福事業

豊岡市内の新たに100歳を迎えられた方を対象に9月の高齢者保健福祉月間に祝金（各1万円）を37名の方に贈呈しました。

③ 福祉団体活動費助成事業

豊岡市内の福祉団体を対象に社会参加と交流の場づくりや組織化の支援・促進を目的に共同募金配分金事業として助成を行いました。

助 成 先	金 額
豊岡市老人クラブ連合会	295,000 円
豊岡市身体障害者福祉協会	266,000 円
はばたけ手をつなぐ育成会	67,000 円
豊岡市婦人共励会	159,000 円
豊岡市民生委員児童委員連合会	624,000 円
豊岡市遺族会	102,000 円
豊岡市子ども会連絡協議会	106,000 円
合 計	1,619,000 円